

# 標茶高校は総合学科

~きっとあえる君の笑顔~

## 学びつなぐの系列

### 文理系列

文科系、理科系の発展科目を含めた普通教科を中心に学習し、科学的・論理的に考察できる人材を育成します。



### 地域環境系列

学校設定科目「環境」の学習を通し、自然と人間の関わりを理解し、時代の要請に  
える人材を育成します。



### 食品科学系列

食品製造に関する科目の学習を通し、地域の食品産業の発展に貢献できる人材を育成します。



### 酪農科学系列

乳牛や農業機械といった科目の学習を通し地域の基幹産業である酪農経営を推進する人材を育成します。



### アグリビジネス系列

流通や簿記、情報の科目の学習を通し情報化やサービス経済化に対応できる人材を育成します。



☆お問い合わせ先☆

## 北海道標茶高等学校

〒088-2313 北海道川上郡標茶町常盤10丁目1番地

TEL 015-485-2001 FAX 015-485-2067

<http://www.shibecha-h.ed.jp>



# 北海道農業高校の行動計画

「エコロジカル・アグリハイスクール」宣言

## 《Action Plan》

北海道の農業高校は育てます。

「食」と「環境」を的確に捉えることができる人材

「豊かな想像力」と「経営感覚」の優れた人材

「高度先端技術」の活用ができるチャレンジ精神豊かな人材

北海道高等学校長協会農業部会

北海道標茶高等学校

## 「エコロジカル・アグリハイスクール」宣言とは、

明日の「食」産業を担い、観光産業を支える将来のスペシャリストを育成する農業高校は、かけがえのない地球環境を守り、命を尊び、かつ、我が国が持続可能な循環型社会に移行するために、積極的にその役割を果たすことを決意します。そのため、次の5つの行動、10の具体策からなる行動計画(アクションプラン)を実行します。

- ★実施開始年度 平成18年度より実施
- ★目標達成年度 平成22年度までの5か年間
- ★中間検証年度 平成20年度



## 「5つの行動計画」

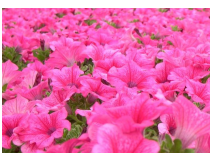
**I** 持続可能な循環型社会に向けて環境に配慮した農業教育を推進し、地域の先進的なエコロジカル・ハイスクールを目指します。

**II** 心の教育、命の教育、食育を率先して行います。

**III** 経営能力や奉仕精神の育成に重点を置き、基本的な農業技術能力を持った人材を育成します。

**IV** 地域貢献、地域連携、地域共生を実践します。

**V** 幼・保・小・中・高などに対し、農業教育活動の普及、奨励、支援を行います。



**7** 農業教員の資質向上を図り、授業力を高めます。

農業教員の専門的な技術能力を向上させるため、地域の農業関係機関・民間企業等と連携し、体系的な研修機会の充実を図り、農業教育に誇りを持ち、「高校生のやる気と元気に火を付ける」農業教員を育成します。

**4** 生徒の奉仕体験活動を積極的に取り入れます。

生徒の規範意識や豊かな心を育成するため、奉仕活動を積極的に導入します。

**8** 地域貢献、地域連携、地域共生を目指します。

幼・保・小・中・高等学校と連携して、出前授業、公開講座等農業体験の機会を提供するなど、広い視野を持った地域農業の担い手育成と都市と農村の交流を行う人材の育成を積極的に進めます。

**2** 食の安全・安心教育を徹底します。

クリーン・有機農業や適切な表示制度の推進を図り、農業生産物の残留農薬量を限りなくゼロに近づけます。

**5** 基本的な農業技術能力を身に付けた人材育成を推進します。

農業技術検定制度を農業高校で導入・活用するとともに、農業及び農業関連産業に従事する経営者や技術者の育成を強化し、人的貢献を一層実践します。

**9** 開かれた学校を目指します。

農業高校が有する施設・設備を地域に開放し、地域の核となる農業教育センターとしての役割を目指します。

## 「10の具体策」

**1** 地球環境に優しい農業教育を推進します。

北海道農業の健全な発展と豊かで住み良い農業・農村の確立を目指します。循環型社会の実現に向け、各地域の実情に応じた目標を定め、省エネ、省資源、リサイクルに取り組みます。

**3** 地産地消、生徒の経営能力を高めます。

北海道農業高校食彩フェアを開催するなど、地産地消を念頭に、生産から加工、販売、消費、リサイクルまでの一貫した農業教育を実践し、生徒の経営能力を高めます。

**6** キャリア教育を推進します。

実学実践、デュアルシステムを積極的に導入し、学ぶことや働くことの意義を適切に理解させるとともに、望ましい勤労観・職業観を育てるキャリア教育を実践します。

**10** 農業教育の普及活動を広く展開します。

公開講座、交流授業、地域交流事業などに積極的に参加し、関係機関とともに地域に根ざした農業教育の普及活動を広く展開し、農業の大切さと呼びかけます。

# 北海道標茶高等学校の行動計画(アクションプラン)

北海道の農業高校は、「食」と「環境」を的確に捉えることができる人材、「豊かな想像力」と「経営感覚」の優れた人材、「高度先端技術」の活用ができるチャレンジ精神豊かな人材を育てます。

北海道農業高等学校行動計画		北海道標茶高等学校				
「5つの行動計画」	10の具体策	重点項目	目標	平成20年度重点項目の具現化、実践項目		
持続可能な循環型社会に向けて環境に配慮した農業教を推進し、地域の先進的なエコロジカル・ハイスクールを目指します。	1 地域環境に優しい農業教育を推進します。	・食物残渣や木材チップ等有機物を栽培や飼育に活用します。 ・産、官、学の共同研究により、地域の産業と自然環境との調和を追求し、循環型農業の推進を図ります。 ・資源循環バイオ実験室等、学校の施設・設備を有効に活用し、地域に環境学習の啓蒙を図ります。	2	5	農産物残渣を利用した堆肥生産（農場全体）	
			2	5	土壌分析の実施（畜産、園芸、環境科学基礎）	
			3	5	各科目での環境学習を意識した活用を図る（畜産、環境科学基礎、）	
			2	5	安心・安全な農産物生産・加工品製造（実習部）	
			2	5	栽培履歴や加工表示の徹底（野菜、食品製造）	
			2	5	減農薬、有機肥料の活用推進（畜産、園芸）	
			2	5	ナチュラルチーズの製造・研究（食品製造）	
経営能力や奉仕精神の育成に重点を置き、基本的な農業技術能力を持った人材を育成します。	3 地産地消、生徒の経営能力を高めめます。	・高品質な商品を開発します。 ・地産地消を推進し、フードシステム農業教育の推進を図ります。 ・視察、実技研修等の充実を図り、農業の担い手としての知識技術の向上に努めます。	3	5	地域資源の有効活用に向けた新製品の開発・研究（食品製造）	
			3	5	先進農家への視察研修を実施し、研修内容の充実を図る（畜産）	
			4	5	うまいもん発見市場、産業祭への参加PR（実習部）	
			5	5	花いっぱい運動、植樹活動への参加PR（農業クラブ）	
			3	5	外部からの受入れ協力と学習の場の提供および支援の充実（実習部）	
			3	5	全道実績発表大会へ出場し入賞を目指す（農業クラブ）	
			2	5	全員合格を目指す取組の推進（環境基礎、食品、畜産）	
2	5	ガス・アーク溶接の資格取得に向けた取組の実施（実習部）				
心の教育、命の教育、食育を率先して行います。	2 食の安全・安心教育を徹底します。	・安心・安全な生産物を供給します。 ・アンテナショップ販売をとおして、食の安全・安心を啓蒙します。 ・有機栽培、減農薬栽培を推進し、加工製品の減添加物利用拡大に努めます。	1	5	3年生希望者によるインターンシップの実施（実習部）	
			3	5	ジョブカフェの活用、進路講演会、相談会の実施	
			4	5	「産社」「自己探究」「課題研究」の実施計画を充実させ結果につなげる	
			1	5	先進農家視察研修の実施（実習部）	
			2	5	計画的な研修の実施に努める（実習部）	
			2	5	各科目のシラバスを見直し充実させる（実習部）	
			2	5	幼小中学校と連携した食育教育の実施（実習部）	
地域貢献、地域連携、地域共生を実践します	8 地域貢献、地域連携、地域共生を目指します。	・農業の持つ教育力で住み良い地域環境づくりを推進します。 ・JA、商工会、役場等との地域連携事業への参加・協力を推進し、地域の活性化に貢献します。 ・小中学生の環境学習やインターンシップ、道外生徒の体験学習の受け入れ等、異校種との交流に努めます	3	5	地域イベントへの積極的な参加（実習部）	
			3	5	中国北京芸術院生徒との交流実施	
			2	5	開放農場における農業体験交流の実施（グリーンライフ）	
			3	5	ホームページへの新情報の掲載（実習部）	
			2	5	学校開放講座の充実（園芸・加工）	
			2	5	学校通信への記載や研究発表会への案内の実施（実習部）	
			2	5	先進農家、専門機関、地域の人材を活用した特別講話の実施（畜産）	
地域貢献、地域連携、地域共生を実践します	9 開かれた学校を目指します。	・生命とのふれ合いの場(農場開放、食農教育等)を提供します。 ・HP等、様々な方法で学校の情報発信に努めます。 ・学校施設の開放による酪農教育センター、花づくりセンターとしての役割を目指します。	2	5	会員との日常的な連携を深める	
			3	5	学校通信への記載や研究発表会への案内の実施（実習部）	
			2	5	先進農家、専門機関、地域の人材を活用した特別講話の実施（畜産）	
			2	5	会員との日常的な連携を深める	
			3	5	学校通信への記載や研究発表会への案内の実施（実習部）	
			2	5	先進農家、専門機関、地域の人材を活用した特別講話の実施（畜産）	
			2	5	会員との日常的な連携を深める	
幼・保・小・中・高などに対し、農業教育活動の普及奨励、支援を行います。	10 農業教育の普及活動を広く展開します	・学校の活動成果を地域発信し、農業の大切さを普及浸透します。 ・関係機関との連携を深め、後継者育成や関連産業就業への人材育成を推進します。 ・PTAや同窓会、教育振興会との連携により農業教育推進者の拡大に努めます。	3	5	学校通信への記載や研究発表会への案内の実施（実習部）	
			2	5	先進農家、専門機関、地域の人材を活用した特別講話の実施（畜産）	
			2	5	会員との日常的な連携を深める	